



初級日本語
〔げんき〕

AN INTEGRATED COURSE IN
ELEMENTARY JAPANESE

げんき

GENKI

I

Eri Banno 坂野永理
Yutaka Ohno 大野裕
Yoko Sakane 坂根庸子
Chikako Shinagawa 品川恭子

The Japan Times



Copyright © 1999 by Eri Banno, Yutaka Ohno, Yoko Sakane, and Chikako Shinagawa

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of the publisher.

First edition: May 1999

32nd printing: November 2004

Editorial assistance: guild

Illustrations: Noriko Udagawa and Reiko Maruyama

Cover art and Editorial design: Nakayama Design Office

Gin-o Nakayama, Mutsumi Satoh, and Masataka Muramatsu

Published by The Japan Times, Ltd.

5-4, Shibaura 4-chome, Minato-ku, Tokyo 108-0023, Japan

Phone: 03-3453-2013

<http://bookclub.japantimes.co.jp/>

ISBN4-7890-0963-7

Printed in Japan

はじめに

本書は学生へのニーズ調査に始まり、実際にくり返し使用し、学生の反応や意見、感想を受けて、細部にわたる改訂を重ねて作成しました。本書をこのような形で出版するまでに4年余りという時間を要しましたが、そのかいがあり理想の教材に近づくことができたと感じています。この教材によって、学習者は絵やゲームなどを通して楽しく、無理なく日本語の力をつけることができると確信しています。

本書が完成したのは多くの方々のおかげです。特に出版にあたり、ジャパントイムズ出版部の関戸千明さんには大変お世話になりました。また、11課以降の作成に加わってくださった渡嘉敷恭子さん、本書を試用し助言をくれた関西外国語大学留学生別科の同僚、実習生、試用版のイラスト担当の田嶋香織さん、翻訳面でご協力いただいた大川ジュディさん、今まで私たちをご指導してくださった先生方に心からお礼を申し上げます。そして、最後に本書作成の出発点であり、原動力でもあった関西外国語大学の留学生に感謝の意を表したいと思います。

Preface

Producing the materials for this textbook involved a long process of surveying students' needs, writing up the results, making detailed revisions to the material based on the surveys, and responding to the reactions and comments of students who used a trial version of this text. It has taken more than four years to complete this project. Our labor has been rewarded, however, because this book is based on our original plan to produce the ideal textbook—one that will enable students to learn Japanese smoothly, while also enjoying lively games and helpful illustrations.

We have an extensive list of people to thank for the completion of this textbook. First, our sincere thanks to Chiaki Sekido of the Publications Department of The Japan Times for seeing this book through the publishing process. Particular acknowledgment goes to Kyoko Tokashiki who helped in the production of Lesson 11 and following, to our colleagues and trainees in the Asian Studies Program of Kansai Gaidai University who attempted the trial version and made invaluable suggestions, to Kaori Tajima for her illustrations in the trial version, to Judy Okawa for translating, and to the teachers whose heartfelt guidance encouraged us throughout the process. Finally, we would also like to express our gratitude to the foreign students at Kansai Gaidai University for providing us with the opportunity to write this book.

初級日本語 [げんき] Ⅰ

も く じ



はじめに/Preface.....	3
本書について/Introduction.....	8
<small>ほんしょ</small>	
Japanese Writing System.....	18

会話・文法編

かい わ ぶん ぽう へん

あいさつ	Greetings	6
第1課▶▶▶▶ あたらしいともだち	New Friends	10
第2課▶▶▶▶ かいもの	Shopping	30
第3課▶▶▶▶ デートの約束 <small>やくそく</small>	Making a Date	54
第4課▶▶▶▶ 初めてのデート <small>はじ</small>	The First Date	72
第5課▶▶▶▶ 沖縄旅行 <small>おきなわりよこう</small>	A Trip to Okinawa	96
第6課▶▶▶▶ ロバートさんの一日 <small>いちにち</small>	A Day in Robert's Life	114
第7課▶▶▶▶ 家族の写真 <small>かぞく しゃしん</small>	Family Picture	132
第8課▶▶▶▶ バーベキュー	Barbecue	150
第9課▶▶▶▶ かぶき	Kabuki	170
第10課▶▶▶▶ 冬休みの予定 <small>ふゆやす よてい</small>	Winter Vacation Plans	190
第11課▶▶▶▶ 休みのあと <small>やす</small>	After the Vacation	210
第12課▶▶▶▶ 病気 <small>びょうき</small>	Feeling Ill	226

読み書き編

第1課▶▶▶▶ ひらがな	Hiragana	252
第2課▶▶▶▶ カタカナ	Katakana	257
第3課▶▶▶▶ まいにちのせいかつ	Daily Life	262
第4課▶▶▶▶ メアリーさんのしゅうまつ	Mary's Weekend	266
第5課▶▶▶▶ りょこう	Travel	270
第6課▶▶▶▶ 私のすきなレストラン <small>わたし</small>	My Favorite Restaurant	276
第7課▶▶▶▶ メアリーさんのてがみ	Mary's Letter	282
第8課▶▶▶▶ 日本の会社員 <small>にほん がいしゃいん</small>	Japanese Office Workers	287
第9課▶▶▶▶ スーさんの日記 <small>にっき</small>	Sue's Diary	292
第10課▶▶▶▶ かさじぞう	The Folktale <i>Kasajizo</i>	298
第11課▶▶▶▶ 友だち募集 <small>とも ぼしゅう</small>	Looking for Friends	304
第12課▶▶▶▶ 七夕 <small>たなばた</small>	Tanabata Festival	310

巻末

さくいん1	Japanese-English	316
さくいん2	English-Japanese	329
数 <small>かず</small>	Numbers	342
活用表 <small>かつ ようひょう</small>	Conjugation Chart	344

本書について

I 対象とねらい

『初級日本語 げんき』は初めて日本語を学ぶ人のための教材です。第Ⅰ巻・第Ⅱ巻の2冊、全23課で初級日本語の学習を修了します。大学生はもとより、高校生や社会人、日本語を独習しようとしている人も、効果的に日本語が習得できます。文法の説明などは英語で書いてあるので、英語がある程度わかることを前提としています。

『初級日本語 げんき』は総合教材として、日本語の四技能（聞く・話す・読む・書く）を伸ばし、総合的な日本語の能力を高めていくことを目標としています。正確に文を作ることができても流暢さがなかったり、流暢ではあっても簡単なことしか言えないということがないように、言語の習得の目標とすべき「正確さ」「流暢さ」「複雑さ」がバランスよく高められるように配慮してあります。

II テキストの構成

テキストは大きく「会話・文法編」「読み書き編」「巻末」から構成されています。以下、順番に説明します。

A ▶ 会話・文法編

「会話・文法編」では、基本的な文法を学び、語彙を増やししながら、「話すこと」「聞くこと」について学習します。「会話・文法編」の各課は以下の部分から構成されています。

● 会話

「会話」は、日本に来た留学生とその友人・家族を中心に展開し、学習者が日常生活で経験しそうなさまざまな場面から成っています。会話文を通して、学習者は「あいづち」などを含めた自然なやりとりに触れ、会話の中で文と文がどのようにつながっていくか、どのような部分が省略されたりするかなどを学ぶことができます。「会話」には、その課で学ぶ新しい学習項目が多く含まれているため、課の初めに学習者がこれを読むと非常に難しいと感じるかもしれません。これらの項目は練習を通して定着が図られるので、初めは難しくてもあまり心配しないようにしてください。

また、「会話」は別売のCDに録音されています。学習者にはこのCDを聞いて、発音やイントネーションなどに気をつけながら、くり返して言う練習をすることを勧めます。

●単語

「単語」には、その課の「会話」と「練習」に出てくる新しい単語がまとめてあります。この中で、「会話」に出てくる単語には*印が付けてあります。第1課と第2課では機能別に単語を提示し、第3課からは品詞別に提示してあります。また、巻末には全課の単語を収録した「さくいん」があります。

「単語」の中の言葉はその後の課でもくり返し出てきますから、学習者は毎日少しずつ覚えるようにしたほうがいいでしょう。第3課から、常用漢字で書ける単語にはすべて漢字を併記してありますが、この漢字は覚える必要はありません。

なお、このテキストでは語のアクセント（拍の高低）を示していません。日本語のアクセントは地域差や個人差（世代間の差など）が激しい上に、語形変化や単語の連結などによる変化も複雑です。ですから、アクセントにはあまり神経質にならず、文のイントネーションなども含め、できるだけCDの音声を模倣するように心掛けてください。


●文法

文法説明は、かなり詳しく書いてありますので、独習している人も容易に理解できます。また、教室で学んでいる学習者はあらかじめ文法説明を読んでから授業に臨んでください。

後の「練習」で取りあげられている項目はすべて「文法」の中で説明してあります。練習はしないが説明が必要な文法や語彙については、「文法」の最後の「表現ノート」に随時まとめてあります。

●練習

「練習」は、各学習項目に関して基本練習から応用練習へと段階的に配列してあり、学習者がこれらの練習を順番にこなしていくことによって、無理なく日本語が習得できるように配慮してあります。

答えが一つに決められるような基本練習はCDに録音されており、の印がついています。CDには解答も録音されていますから、学習者は各自で自習することが可能です。

また、「練習」の最後には「まとめの練習」があります。これは複数の学習項目を組み合わせた練習や「会話」を応用して別の会話を作る練習など、その課の学習の仕上げとなる練習です。

●コラム

課の最後に必要に応じてコラムを設けてあります。このコラムには、第1課の「じかん・とし」のようにその課のトピックに関連した表現や、第10課の「駅で」のように場面ごとに使わ

れる表現がまとめてあります。これらの単語も、巻末の「さくいん」に載せてあります。

B ▶ 読み書き編

「読み書き編」では、日本語の文字を学び、文章を読んだり書いたりすることによって、読解力と書く力を伸ばします。第1課でひらがな、第2課でカタカナを学習した後、第3課以降で漢字を学習します。第3課以降の各課は、以下のような構成です。

● 漢字表

漢字表には、その課で学ぶ新出漢字が掲載されています。各課で約15の漢字を学びますが、一度に覚えるのには無理があるので、毎日少しずつ覚えていくようにしてください。漢字表は以下のようになっています。

①漢字の通し番号 017	②漢字 本	④漢字の読み方 ホン もと (book; basis)	⑤この漢字を含んだ単語 本 (ホン) book 日本 (ニホン) Japan 日本語 (ニホンゴ) Japanese 山本さん (やまもとさん) Mr./Ms. Yamamoto
	③漢字の意味	⑥総画数	⑦筆順 (5) 一 十 才 木 本

④と⑤に示された漢字や単語の読み方で、ひらがなで書かれたものは「訓読み」、つまり日本語古来の読みです。カタカナで書かれたものは「音読み」、つまり昔の中国語の発音を輸入したものです。訓読みも音読みも、単語の中で使われた時、音が変わる場合があります。(たとえば、「学」という漢字は「ガク」と読みますが、「学校」という単語の中では「ガク」と読みます。) そのような派生的な読み方もこの部分に表記されています。

なお、漢字の中には多くの読み方を持っているものもありますが、漢字表には、初級レベルにふさわしい読みが挙げられています。

④と⑤で の中に入っている読み方や単語は、その課で覚えるべきものです。一方、 以外のものは参考として挙げたもので、覚えなくてもかまいません。

それぞれの漢字は、ワークブックの読み書き編の中に練習シートがありますので、テキストの漢字表に示された筆順を見ながら何度も練習してください。

●練習

『げんきⅠ』には、漢字の練習、読解本文と内容についての質問、そして書く練習が載せてあります。漢字の練習は、漢字を分解してできる部品から漢字を再構築する問題や漢字から単語を作る問題など、さまざまな形式の練習を通じて漢字に慣れていくことを目標としています。読解本文は、短く、親しみやすいものを中心に構成しています。それまでに「会話・文法編」で学んだ文法や単語の知識が前提とされており、新出単語はその都度、単語表を掲載しています。練習の最後には、書く練習として作文トピックが提示されています。

『げんきⅡ』には、読解本文と内容についての質問、そして書く練習が載せてあります。読解本文は、手紙、物語、エッセイ、広告など、さまざまな分野の日本語を取り上げています。その課までに学んだ単語や文法、漢字の知識が前提とされており、課を追うごとに、長さや難易度などが増していきます。新出単語も本文での提出順に掲載されています。練習の最後には、作文トピックが提示されています。

C ▶ 巻末

第Ⅰ巻・第Ⅱ巻それぞれの巻末に「さくいん」を準備しました。一つは和英さくいんで、各課の単語表やコラムに掲載されている単語を五十音順に再録しました。単語に付された数字は、その単語が導入された課の番号を示しています。英和さくいんでは、各課の単語が訳語のアルファベット順に再録されています。

その他に、動詞の活用表と助数詞の音の変化をまとめた表を掲載しました。

Ⅲ 表記と書体について

本文は基本的に、漢字仮名交じりで表記しています。漢字表記は、基本的に常用漢字表に従いましたが、常用漢字に含まれている漢字でも、初級の学習者には無縁であるようなものは、ひらがな表記にしてあります。

また、「会話・文法編」のみを学習することも可能なように、「会話・文法編」では漢字にはすべてふりがなが振ってあります。

ただし、「会話・文法編」冒頭の「あいさつ」と第1課、第2課は、学習者の負担を軽減し自習を容易にするため、ひらがな・カタカナ表記とし、ローマ字を併記しました。このローマ字併記はあくまでも補助的なものですから、最初から頼りすぎないように心掛けてください。ひらがなは「読み書き編」の第1課で、カタカナは第2課で、それぞれ学習します。

なお、「読み書き編」では、漢字を第3課以降に学習していきますが、学習の定着が図れるよう、既習の漢字にはふりがなが振ってありません。

本文の日本語は、ほとんどが「教科書体」の書体で組まれています。教科書体は手書き文字に近い書体ですから、学習者は自分が書く文字のモデルとすることができます。ただし、実際に印刷された日本語文では、さまざまな書体を見ることがあります。文字によっては、書体によってかなり形が異なります。特に、離れた二つの線が筆づかいによって一つにつながる場合があるので、注意が必要です。

例：	教科書体	明朝体	ゴシック体	手書き文字
	さ き り ら こ や	さ き り ら こ や	さ き り ら こ や	さ き り ら こ や

Introduction

I Aim and purpose

GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese is a textbook for beginners in the study of the Japanese language. Students can complete the elementary-level study of Japanese in the 23 lessons of this text, which is divided into two volumes. The book is designed mainly for use in university and college courses, but it is also effective for high school students and adults who are beginning to learn Japanese either at school or on their own. Hopefully, students will have at least a basic knowledge of English, because grammar explanations are given in English.

GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese is a comprehensive approach to developing the four basic language skills (listening, speaking, reading, and writing) in order to cultivate overall Japanese-language ability. Much emphasis has been placed on balancing accuracy, fluency, and complexity so that students using the material would not end up speaking accurately yet in a stilted manner, nor fluently yet employing only simple grammatical structures.

II Structure of the textbook

This textbook basically consists of three sections: Dialogue and Grammar, Reading and Writing, and the Appendix. A detailed explanation of each part follows.

A▶ Dialogue and Grammar

The Dialogue and Grammar section aims at improving students' speaking and listening abilities by learning basic grammar and increasing vocabulary. The Dialogue and Grammar section of each lesson is comprised of the following components:

● Dialogue

The dialogues revolve around the lives of foreign students living in Japan, their friends, and their families, presenting various scenes that students are likely to face in their daily lives. By practicing natural expressions and *aizuchi* (responses that make conversations go smoothly), students are able to understand how sentences are connected and how some phrases are shortened in daily conversation. Because the Dialogue section of each lesson covers a lot of new grammar and vocabulary, students may feel it is too difficult

to understand at first. Don't be overly concerned, however, because the grammar and vocabulary will gradually take root with practice.

Dialogues are recorded on the accompanying CD. Students are encouraged to practice regularly by listening to the CD and carefully noting pronunciation and intonation.

● Vocabulary

The Vocabulary section presents all the new words encountered in both the Dialogue and Practice sections of each lesson. Words that appear in the Dialogue are marked with an asterisk (*). Words are listed according to their function in Lessons 1 and 2, and by parts of speech in Lesson 3 and following. In addition, all words presented in the text are also found in the Index at the end of each volume.

Words found in the Vocabulary section of each lesson appear frequently in subsequent lessons, thus students are encouraged to learn them little by little each day. After Lesson 2, commonly used kanji equivalents of some words (Joyo Kanji) are also listed, but students are not required to memorize them.


This textbook does not indicate a word's accents. The accent of a Japanese word varies considerably, depending on the region, the speaker's age (including the generation gap between speakers), the word's paradigmatic form, and its connection with other words. Therefore, don't be overly concerned about the accent, but try to imitate as closely as possible the intonation heard on the accompanying CD.

● Grammar

Grammar explanations are detailed, so that students can easily study them on their own. Students at school are expected to read the grammar explanations before each class.

This section also fully explains the items found in the Practice section that follows. Necessary explanations for the grammar and vocabulary that are not found in the Practice section can be found in the Expression Notes at the end of each Grammar section.

● Practice

This section includes questions related to what was taught in each section of the lesson, providing students with both basic practice and application. By answering the questions sequentially, students can naturally build up their Japanese-language ability. The exercises with only one answer are marked with  and recorded on the CD, allowing students the opportunity to practice on their own.

The last part of the Practice section contains Review Exercises, which incorporate aspects of the lesson as a whole. For example, some questions combine various topics covered in the lesson, and some call for the creation of new phrases based on what was learned in the Dialogue section.

● Supplement

Finally, some lessons include additional or supplementary information. This includes expressions related to the topic of the lesson, as in “Time and age” in Lesson 1, or expressions suitable at certain times or places, as in “At the station” in Lesson 10. Words introduced in the Supplement section are found in the Index of each volume.

B▶ Reading and Writing

The Reading and Writing section aims to foster comprehension and writing ability by learning Japanese characters and by providing opportunities to practice both reading and writing. *Hiragana* is introduced in Lesson 1, followed by *katakana* in Lesson 2, and kanji in Lesson 3 and following. From Lesson 3, each lesson contains the following components:

● Kanji list

Each new kanji introduced in a lesson is contained in a list, each with about 15 kanji. This makes it easy to memorize a few each day, rather than be overwhelmed with so many at once.

① serial number 017	(2) kanji 本	(4) reading ホン もと (book; basis)	(5) compounds including the kanji 本 (ホン) book 日本 (ニホン) Japan 日本語 (ニホンゴ) Japanese 山本さん (やまもとさん) Mr./Ms. Yamamoto
		(3) meaning	(7) stroke order (5) 一 十 才 木 本
			(6) total strokes

Among the readings shown in (4) and (5), *hiragana* indicates the *kun'yomi*, or Japanese readings for a kanji, while *katakana* indicates the *on'yomi*, or Chinese reading. Both *kun'yomi* and *on'yomi* are sometimes altered in compounds of two or more kanji. For example, the ordinary pronunciation of 学 is “*gaku*,” which becomes “*ga(k)*” when the kanji is used in the word 学校. Such derivative readings are also included in (4) and (5).

Although some kanji have many readings, only those readings that are useful at an elementary level are included.

Shaded readings and words in each lesson should be memorized. The others are for reference, so students don't need to memorize them. A practice sheet for each kanji is provided in the Reading and Writing section of the Workbook. Students should practice

writing the kanji repeatedly, according to the stroke order shown on the kanji list in the textbook.

● Practice

GENKI I consists of kanji practice, readings for comprehension, questions about the content of the readings, and writing practice. Kanji practice includes various types of questions, such as having students reconstruct a kanji from its various parts or make new words by combining kanji. By tackling these problems, students will realize the goal of practice—to become more proficient in their use of kanji. Basically, the readings are short and deal with subjects familiar to the students. They are easy to understand if the student has learned the vocabulary and grammar taught previously in the Dialogue and Grammar section. When readings include new words, a corresponding word list is provided. Finally, composition topics are given for writing practice.

GENKI II contains readings for comprehension, questions about the content of the readings, and writing practice. The readings employ various styles of Japanese, ranging from letters and fables to essays and advertisements. With a knowledge of the previously learned vocabulary, grammar, and kanji, the readings are easy to understand but grow longer and more difficult in later lessons. Word lists are provided for newly introduced vocabulary. Finally, composition topics are introduced.

C► Appendix

Volumes 1 and 2 both contain an Index. The Japanese-English Index, in *hiragana* order, lists words found in the Vocabulary and Supplement section of each lesson. The number next to a word indicates the lesson in which the word was introduced. In the English-Japanese Index, English equivalents to Japanese words are arranged in alphabetical order.

Also included in the Appendix are tables of verb conjugations as well as sound inflections of the expressions related to numbers.

III Orthography and font

The basic text is written in kanji and *hiragana*. Kanji is used for the most commonly used characters, those that appear in the official list of Joyo Kanji. *Hiragana* is used instead, however, when the Joyo Kanji equivalent would not be necessary for beginning students of Japanese.

So that students can easily study the Dialogue and Grammar section, the pronunciation of every kanji is indicated in *hiragana*. However, to lessen the burden on the students and allow them to study on their own, Greetings and Lessons 1 and 2 are represented in *hiragana* and *katakana*, as well as by romanized forms. It is best not to rely too much on the romanizations, but use them only as a learning aid. Students study *hiragana* and *katakana* in Lessons 1 and 2, respectively, of the Reading and Writing section.

Students study kanji from Lesson 3 in the Reading and Writing section, where pronunciations of the kanji already presented are not indicated in *hiragana*, in order to promote the students' increasing acquisition of kanji.

The Japanese in the basic text is set mainly in the Textbook font, which resembles handwriting and serves as a good model for students. Students will encounter a variety of fonts used for Japanese materials, however, and should be aware that the shape of some characters differ considerably, depending on the font used. Note especially that with some characters, we find two separate strokes in one style are merged into a single stroke.

Example:	Textbook font	Mincho font	Gothic font	Handwriting
	さ	𛄱	𛄱	𛄱
	き	𛄱	𛄱	𛄱
	り	り	𛄱	り
	ら	𛄱	𛄱	ら
	こ	こ	𛄱	こ
	や	𛄱	𛄱	𛄱

Japanese Writing System

There are three kinds of characters in Japanese: *hiragana*, *katakana*, and kanji.¹ All three characters can be seen in a single sentence.

テレビを見ます。

katakana kanji hiragana

I watch television.

Hiragana and *katakana*, like the alphabet, represent sounds. As you can see in the above example, *hiragana* has a roundish shape and is used for conjugation endings, function words, and native Japanese words not covered by kanji. *Katakana*, which has rather straight lines, is normally used for writing loanwords and foreign names. For example, the Japanese word for “television” is written in *katakana* as テレビ (*terebi*). Kanji, or Chinese characters, represent not just sounds but also meanings. Mostly, kanji are used for nouns and the stems of verbs and adjectives.

① Hiragana

1. Basic Hiragana Syllables

There are forty-six basic *hiragana* syllables, which are listed below. Once you memorize this chart, you will have the skill to transcribe all of the Japanese sounds.

あ <i>a</i>	い <i>i</i>	う <i>u</i>	え <i>e</i>	お <i>o</i>
か <i>ka</i>	き <i>ki</i>	く <i>ku</i>	け <i>ke</i>	こ <i>ko</i>
さ <i>sa</i>	し <i>*shi</i>	す <i>su</i>	せ <i>se</i>	そ <i>so</i>
た <i>ta</i>	ち <i>*chi</i>	つ <i>*tsu</i>	て <i>te</i>	と <i>to</i>
な <i>na</i>	に <i>ni</i>	ぬ <i>nu</i>	ね <i>ne</i>	の <i>no</i>
は <i>ha</i>	ひ <i>hi</i>	ふ <i>fu</i>	へ <i>he</i>	ほ <i>ho</i>

¹There is another writing system called *rōmaji* (Roman letters) which is used for station names, signs, and so on.

ま <i>ma</i>	み <i>mi</i>	む <i>mu</i>	め <i>me</i>	も <i>mo</i>
や <i>ya</i>		ゆ <i>yu</i>		よ <i>yo</i>
ら <i>ra</i>	り <i>ri</i>	る <i>ru</i>	れ <i>re</i>	ろ <i>ro</i>
わ <i>wa</i>				を <i>**o</i>
ん <i>n</i>				

*The syllables し, ち, and つ are romanized as *shi*, *chi*, and *tsu*, respectively, which is closer to the English pronunciation.

**を is also pronounced as “*wo*.”

The romanization is given for general pronunciation reference.

2. Hiragana with Diacritical Marks

You can transcribe 23 additional sounds by adding diacritical marks. With a pair of short diagonal strokes (°), the unvoiced consonants *k*, *s*, *t*, and *h* become voiced consonants *g*, *z*, *d*, and *b*, respectively. The consonant *h* changes to *p* with the addition of a small circle (°).

が <i>ga</i>	ぎ <i>gi</i>	ぐ <i>gu</i>	げ <i>ge</i>	ご <i>go</i>
ざ <i>za</i>	じ <i>ji</i>	ず <i>zu</i>	ぜ <i>ze</i>	ぞ <i>zo</i>
だ <i>da</i>	*ち <i>ji</i>	*づ <i>zu</i>	で <i>de</i>	ど <i>do</i>
ば <i>ba</i>	び <i>bi</i>	ぶ <i>bu</i>	べ <i>be</i>	ぼ <i>bo</i>
ぱ <i>pa</i>	ぴ <i>pi</i>	ぷ <i>pu</i>	ぺ <i>pe</i>	ぽ <i>po</i>

*ち (*ji*) and づ (*zu*) are pronounced the same as じ (*ji*) and ず (*zu*), respectively, and have limited use.

3. Transcribing Contracted Sounds

Small や, ゆ, and よ follow after letters in the second column (*i*-vowel *hiragana*, except い) and are used to transcribe contracted sounds. The contracted sound represents a single syllable.

きや <i>kya</i>	きゆ <i>kyu</i>	きよ <i>kyo</i>
しや <i>sha</i>	しゆ <i>shu</i>	しよ <i>sho</i>
ちや <i>cha</i>	ちゆ <i>chu</i>	ちよ <i>cho</i>
にや <i>nya</i>	にゆ <i>nyu</i>	によ <i>nyo</i>
ひや <i>hya</i>	ひゆ <i>hyu</i>	ひよ <i>hyo</i>
みや <i>mya</i>	みゆ <i>myu</i>	みよ <i>myo</i>
りや <i>rya</i>	りゆ <i>ryu</i>	りよ <i>ryo</i>

ぎや <i>gya</i>	ぎゆ <i>gyu</i>	ぎよ <i>gyo</i>
じゃ <i>ja</i>	じゆ <i>ju</i>	じよ <i>jo</i>

びや <i>bya</i>	びゆ <i>byu</i>	びよ <i>byo</i>
ぴや <i>pya</i>	ぴゆ <i>pyu</i>	ぴよ <i>pyo</i>

4. Transcribing Double Consonants

There is another small letter つ, which is used when transcribing double consonants such as *tt* and *pp*.

Examples: かった *katta* (won) cf. かた *kata* (shoulder)
 さっか *sakka* (writer)
 はっぱ *happa* (leaf)
 ざっし *zasshi* (magazine)

Note that double consonant *n*'s, as in *sannen* (3 years), are written with ん + a *hiragana* with an initial *n* sound (な, に, ぬ, ね, or の).

Examples: さんねん *sannen* (3 years)
 あんない *annai* (guide)

5. Other Issues Relating to Transcription and Pronunciation

A. Long Vowels

When the same vowel is placed one right after the other, the pronunciation of the vowel

becomes about twice as long as the single vowel. Be sure to hold the sound long enough, because the length of the vowel can change one word to another.

aa おばあさん *obaasan* (grandmother) cf. おばさん *obasan* (aunt)

ii おじいさん *ojiisan* (grandfather) cf. おじさん *ojisan* (uncle)

uu すうじ *suuji* (number)

ee The long *ee* sound is usually transcribed by adding an *い* to an *e*-vowel *hiragana*. There are a few words, however, in which *え* is used instead of *い*.

えいが *eega* (movie)

おねえさん *oneesan* (big sister)

oo The long *oo* sound is in most cases transcribed by adding an *う* to an *o*-vowel *hiragana*. There are, however, words in which the long vowel is transcribed with an *お*, for historical reasons.

ほうりつ *hooritsu* (law)

とお *too* (ten)

B. Pronunciation of ん

ん “*n*” is treated like a full syllable, in terms of length. Its pronunciation varies, however, depending on the sound that follows it. Japanese speakers are normally not aware of the different sound values of ん. Therefore, you do not need to worry too much about its pronunciation.²

C. Vowels to Be Dropped

The vowels *i* and *u* are sometimes dropped when placed between voiceless consonants (*k*, *s*, *t*, *p*, and *h*), or at the end of an utterance preceded by voiceless consonants.

Example: すきです *s(u)kides(u)* (I like it.)

²One variety of the ん pronunciation merits discussing here. When it is followed by a vowel or at the end of an utterance, ん indicates that the preceding vowel is long and nasalized. (Nasalized vowels are shown here with a tilde above vowel letters. You hear nasalized vowels in French words such as “bon,” or the English interjection “uh-uh,” as in “no.”)

れんあい *rēai* (romance)

ほん *hō* (book)

Followed by *n*, *t*, *d*, *s*, and *z* sounds, ん is pronounced as “n.”

おんな *onna* (woman)

Followed by *m*, *p*, and *b* sounds, ん is pronounced as “m.”

さんぽ *sampo* (stroll)

Followed by *k* and *g* sounds, ん is pronounced as “ng” as in “song.”

まんが *мага* (comics)

D. Accent in the Japanese Language

Japanese has a pitch accent: all syllables are pronounced basically either in high or low pitch. Unlike the English stress accent in which stressed syllables tend to be pronounced longer and louder, in Japanese each syllable is pronounced approximately in equal length and stress. The pitch patterns in Japanese vary greatly, depending on the region of the country.

Examples: あさ $\overset{a}{\cdot}s\bar{a}$ (morning)
 なまえ $\bar{n}a\overset{ma}{\cdot}e$ (name)
 たかい $\bar{t}a\overset{ka}{\cdot}i$ (high)

II K a t a k a n a

ア <i>a</i>	イ <i>i</i>	ウ <i>u</i>	エ <i>e</i>	オ <i>o</i>
カ <i>ka</i>	キ <i>ki</i>	ク <i>ku</i>	ケ <i>ke</i>	コ <i>ko</i>
サ <i>sa</i>	シ <i>*shi</i>	ス <i>su</i>	セ <i>se</i>	ソ <i>so</i>
タ <i>ta</i>	チ <i>*chi</i>	ツ <i>*tsu</i>	テ <i>te</i>	ト <i>to</i>
ナ <i>na</i>	ニ <i>ni</i>	ヌ <i>nu</i>	ネ <i>ne</i>	ノ <i>no</i>
ハ <i>ha</i>	ヒ <i>hi</i>	フ <i>fu</i>	ヘ <i>he</i>	ホ <i>ho</i>
マ <i>ma</i>	ミ <i>mi</i>	ム <i>mu</i>	メ <i>me</i>	モ <i>mo</i>
ヤ <i>ya</i>		ユ <i>yu</i>		ヨ <i>yo</i>
ラ <i>ra</i>	リ <i>ri</i>	ル <i>ru</i>	レ <i>re</i>	ロ <i>ro</i>
ワ <i>wa</i>				ヲ <i>o</i>
ン <i>n</i>				

*The syllables シ, チ, and ツ are romanized as *shi*, *chi*, and *tsu*, respectively, to give a closer English pronunciation.

ガ <i>ga</i>	ギ <i>gi</i>	グ <i>gu</i>	ゲ <i>ge</i>	ゴ <i>go</i>
ザ <i>za</i>	ジ <i>ji</i>	ズ <i>zu</i>	ゼ <i>ze</i>	ゾ <i>zo</i>
ダ <i>da</i>	*ヂ <i>ji</i>	*ヅ <i>zu</i>	デ <i>de</i>	ド <i>do</i>
バ <i>ba</i>	ビ <i>bi</i>	ブ <i>bu</i>	ベ <i>be</i>	ボ <i>bo</i>
パ <i>pa</i>	ピ <i>pi</i>	プ <i>pu</i>	ペ <i>pe</i>	ポ <i>po</i>

*ヂ (*ji*) and ヅ (*zu*) are pronounced the same as ジ (*ji*) and ス (*zu*), respectively, and have limited use.

キヤ <i>kya</i>	キュ <i>kyu</i>	キョ <i>kyo</i>
シヤ <i>sha</i>	シュ <i>shu</i>	シヨ <i>sho</i>
チャ <i>cha</i>	チュ <i>chu</i>	チョ <i>cho</i>
ニヤ <i>nya</i>	ニユ <i>nyu</i>	ニョ <i>nyo</i>
ヒヤ <i>hya</i>	ヒユ <i>hyu</i>	ヒョ <i>hyo</i>
ミヤ <i>mya</i>	ミユ <i>myu</i>	ミョ <i>myo</i>
リヤ <i>rya</i>	リュ <i>ryu</i>	リョ <i>ryo</i>

ギヤ <i>gya</i>	ギユ <i>gyu</i>	ギョ <i>gyo</i>
ジャ <i>ja</i>	ジュ <i>ju</i>	ジョ <i>jo</i>

ビヤ <i>bya</i>	ビユ <i>byu</i>	ビョ <i>byo</i>
ピヤ <i>pya</i>	ピユ <i>pyu</i>	ピョ <i>pyo</i>

The pronunciation of *katakana* and its combinations are the same as those of *hiragana*, except for the following points.

(1) The long vowels are written with *ー*.

Examples: カー *kaa* (car)
 スキー *sukii* (ski)
 スーツ *suutsu* (suit)
 ケーキ *keeki* (cake)
 ボール *booru* (ball)

When you write vertically, the — mark needs to be written vertically also.

Example:

ボール → $\begin{array}{c} \text{ボ} \\ | \\ \text{ール} \end{array}$

(2) Additional combinations with small vowel letters are used to transcribe foreign sounds that originally did not exist in Japanese.

Examples:	ウィ	ハロウィーン	<i>harowiin</i>	(Halloween)
	ウエ	ハイウェイ	<i>haiwee</i>	(highway)
	ウォ	ミネラルウォーター	<i>mineraruwootaa</i>	(mineral water)
	シェ	シェリー	<i>sherii</i>	(sherry)
	ジェ	ジェームス	<i>jeemusu</i>	(James)
	チェ	チェック	<i>chekku</i>	(check)
	ファ	ファッション	<i>fasshon</i>	(fashion)
	フィ	フィリピン	<i>firipin</i>	(Philippine)
	フェ	カフェ	<i>kafe</i>	(cafe)
	フォ	カリフォルニア	<i>kariforunia</i>	(California)
	ティ	パーティー	<i>paatii</i>	(party)
	ディ	ディスコ	<i>disuko</i>	(disco)
	デュ	デューク	<i>dyuuku</i>	(Duke)

(3) The sound “v” is sometimes written with ヴ. For example, the word “Venus” is sometimes written as ビーナス or ヴィーナス.